

日本政治論 I

科目ナンバリング POL-201
選択必修 2単位

鬼頭 誠

1. 授業の概要(ねらい)

日本政治の現在を、歴史、理論、行動、国際比較なども念頭に、多角的に捉えつつ解説し、議論の材料を提供し、一方、受講学生には主体的に考え発言することを毎回の授業で促します。事例として、毎回、「今朝」のニュース、新聞・雑誌・テレビ・SNS等に掲載される報道・論説に注目しながら、授業を構成していきます。

政治学をすでに履修した人、並行的に履修する人、これから政治学を学修しようとする人、すべてを念頭において授業します。

授業は、民主政治体制下の「国民」としての政治的素養を培い、就活・公務員試験にも役立つ知恵を育成することを目標に、双方向性を心がけながら進めます。

2. 授業の到達目標

- ①実用的で発展的な授業内容の理解と応用ができる
- ②民主政治の下における主権者国民としての意識が向上する
- ③就職試験・公務員試験への対応力が向上する

3. 成績評価の方法および基準

授業内評価(レポート、発言、討論)50%、期末試験50%等を合わせて総合評価

4. 教科書・参考文献

参考文献

日刊の新聞各紙、月刊『中央公論』

甲斐祥子・宮田智之著 『政治学のナビゲーター』(2018年)2,420円(2,200円+税) 北樹出版

5. 準備学修の内容

SNS情報の収集だけで停止せず、日々、自宅や図書館で新聞を読み、政治ニュースに関心を高めることを習慣づけて授業に臨むことを求めます。授業で使ったプリントをフル活用して期末試験(授業内試験)に挑戦します。毎回の授業は録画録音されますから、復習などに活用します。

6. その他履修上の注意事項

シラバスは目安で、適宜変更することがあります。近年まで政治・外交・憲法担当の新聞記者でしたので、日々の新聞報道を活用した授業を心がけます。

授業中の行動はすべて就活に直結すると考えて、礼儀正しく、現実的、前向きに授業に臨みましょう。

7. 授業内容

- 【第1回】 【オンライン授業】 日本政治の捉え方——現代以前の日本 イデオロギー(主義、イムズ)と政治のかかわり 沖縄問題 核兵器禁止条約問題
- 【第2回】 日本政治の原風景——幕藩体制から明治政府へ
- 【第3回】 戦前・戦後の政治主導(近衛、東条、吉田、鳩山、岸、池田)
- 【第4回】 国家の枠組み——「令外官」(りょうげのかん)の伝統を考える
- 【第5回】 日本の民主政治——外国の政治体質と比較してみる(コロナ感染を素材に)
- 【第6回】 日本民主政治——背後にある「日本教」
- 【第7回】 日本の民主政治——世論調査の影響
- 【第8回】 日本の民主政治——を侵食する共産主義とは
- 【第9回】 中国共産党政権と日本民主政治
- 【第10回】 アメリカの下での戦後民主体制 政権運営における官僚の役割
- 【第11回】 日米安保体制(「アメリカのいいなり」論の真偽)
- 【第12回】 G7サミット、国政選挙、脅威としての周辺諸国
- 【第13回】 地方政治と分権、存在感を増す女性の力
- 【第14回】 【オンライン授業】 メディアと政治の関係、世論調査、自由民主の政治を脅かすサイバーテロ
- 【第15回】 まとめと試験

(注)以上のテーマは、時事報道の動向により、変更する場合があります。